

# 5. 作業部会ダイジェスト



## (1) 福祉システム部会

### 福祉システム部会とは・・・

何か困ったことが起きたとき、「どうすればいいの?」「どこに相談すればいいの?」と戸惑ったことはありませんか?

人は、生まれてから生涯を閉じるまでの間、誰もがいつかは家族以外の支援が必要となります。「必要なときに必要な支援が受けられるしくみ」があれば、その人らしく生活を続けていくことができると思います。



福祉システム部会では、「誰もが生まれ、育ち、生きていく上で必要な支援のしくみ」について、行政関係者、施設関係、事業所、学校関係者などさまざまな分野の参加者で議論をおこないました。

### わたしが考える「半田の福祉システム」

参加者から、福祉課題と福祉システムについて自由に話し合いました。参加者の意見より、教育や、就労、高齢、病気による福祉課題を洗い出しました。

#### 事業所や学校、施設関係者の意見



- 病児保育の必要性
- 障がいの発見をどのように保育、教育へつなげるか
- 障がい者の就労問題
- 独居・高齢夫婦家庭の生活問題など

#### 行政の意見

- 制度上は支援の対象にならない方が生活上の問題を抱えても対応できる施策がない。
- 福祉課題を抱えているが、その自覚のない人へアプローチする手段
- 貧困の問題 など



参加者の意見より、現在抱えている福祉課題は、事業所や各相談機関で解決できることから、新たに情報を共有しチーム体制をつくり支援することや、制度をこえた連携支援体制などの取り組みが必要なことがわかりました。



地域の福祉課題は、

まず、地域単位で解決を図れないか？

→自分たちのことは自分で解決できるまちへ

→住民で解決できない課題を専門職ネットワークで解決していく

→その調整を行うコーディネーターが必要



# 生涯を支えるしくみ

## 半田市の福祉システム（イメージ）

（半田方式）

地域課題をすいあげる装置  
（小地域単位の窓口） ①

プラットフォーム  
（社会福祉協議会等）

④  
行政へ  
課題を解決する  
ための  
政策提言

課題を調整・コーディネーター ②

③  
課題別プロジェクトチーム  
（行政、民間、分野を超えた  
チーム編成）

課題を分析・調査  
解決する方法を検討

## 地域の福祉課題



半田市には、福祉関係の事業所、NPO法人、相談支援機能が多いという利点を生かし、①様々な地域課題をすいあげ、

②地域課題を調整・コーディネートし、制度・資源を活用し、課題を解決します。

③それでも解決できない地域課題については、プロジェクトチームを結成し、解決する方法を検討。

④行政へ課題を解決するための政策提言を行うという半田市の福祉システムが提案されました。